

器官制御医学講座／泌尿器科学領域 附属病院／泌尿器科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	横山 修	平成 14 年 5 月－
准教授	秋野 裕信	昭和 58 年 4 月－平成 27 年 3 月
講師	大山 伸幸	平成 2 年 3 月－平成 2 年 10 月、平成 7 年 10 月－平成 27 年 2 月
講師	伊藤 秀明	平成 18 年 7 月－
講師	青木 芳隆	平成 5 年 5 月－平成 8 年 6 月、平成 16 年 4 月－
助教	松田 陽介	平成 9 年 5 月－平成 11 年 3 月、平成 13 年 7 月－平成 15 年 3 月、平成 17 年 4 月－平成 19 年 3 月、平成 21 年 4 月－平成 23 年 10 月、平成 25 年 4 月－
助教	山内 寛喜	平成 25 年 9 月－
助教	土山 克樹	平成 25 年 9 月－平成 26 年 9 月
助教	黒川 哲之	平成 26 年 4 月－
助教	多賀 峰克	平成 26 年 10 月－
助教	横井 聡始	平成 27 年 3 月

2. 研究概要

● 研究概要

当領域は以下の研究部門による研究を継続実施している。

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門
- 2) 腎臓部門
- 3) 下部尿路機能部門
- 4) 性機能部門
- 5) 排尿ケア部門

● 本学の理念との関係

超高齢化社会を迎え、泌尿器科疾患を有する患者も急増している。尿路性器悪性腫瘍に限らず下部尿路機能障害、性機能障害など QOL 疾患に対しても世界的水準での研究・教育を推進し、地域・国・国際社会に貢献できる人材の育成と独創的な研究を行っている。特に産学官連携を推進し、広く社会に貢献していると自負している。

1) 尿路性器悪性腫瘍部門

● 研究概要

福井県では平成 15 年度より主な市町で前立腺検診が開始され、前立腺癌症例が急増している。前立腺検診受診者は年々増加しており、全県的に検診が普及するよう活動を行っている。このような状況のもと、当講座では遺伝子レベルの基礎的研究のみならず、再燃癌に対する抗癌化学療法、¹¹C-acetate PET を用いた癌局在診断の向上を目指した研究を行い、その有用性について多くの報告を行ってきた。PET を用いた癌局在診断では、前立腺癌とその局所や骨転移ばかりでなく嚢胞性腎癌の診断にも有用で、高く評価されている。近年進行腎癌に対する分子標的薬の有用性について一定の評価がなされているが、当講座では PET を用いてより早期から効果判定を行う分子レベルでの診断法を開発中である。その新規 PET トレーサー開発として、FLT PET を用いて腫瘍の細胞増殖能を評価する基礎研究、臨床研究を実施中である。

- **キーワード**

泌尿生殖器の腫瘍, 泌尿器科学, PET

- **業績年の進捗状況**

- a) 腎癌

11C-acetate PET による嚢胞性腎癌の診断に関する研究を行った。腎癌のうちでも嚢胞型のものは良性疾患との鑑別が難しい。癌細胞に比較的選択的に取り込まれる 11C-acetate を利用し診断精度を向上させることに注目し、多くの成果を挙げた。さらに、11C-acetate PET を用いて、腎癌組織における ACS2 や FASN などの脂肪合成代謝に関与する酵素発現の評価を試みる研究にも着手した。また、進行性腎癌に対する分子標的薬の治療効果判定における FLT PET 画像診断の基礎的臨床研究も継続しており、その結果の一部は学会発表を行った。また、当大学放射線科との共同研究では、新しい非造影灌流 MRI 画像法 (ASL-MRI 法) の腎腫瘍における臨床的有用性についての研究を開始した。

- b) 腎盂尿管癌・膀胱癌

再発膀胱癌に対する BCG 膀胱内注入療法は副作用が強く、継続困難症例も多い。ゲムシタビンを用いた膀胱内注入療法を行っているが、BCG より自他覚的副作用は少なく、BCG と同等またはそれ以上の抗腫瘍効果があると思われる。

- c) 前立腺癌

前立腺癌組織における microRNA の発現と Gleason pattern との関連について解析し、Gleason score の客観的指標としての microRNA の有用性について検討を行っている。また腎癌・前立腺癌治療における autophagy 誘導の意義についても解明した。

従来 RI スキャンによる前立腺癌骨転移部位診断の精度を高める目的で、18F-fluoride PET を用いた新規検査を行っている。18F-fluoride PET では解像度の高い画像が得られるため、骨シンチでは偽陰性となりやすい微小骨転移病変を検出できる可能性が期待される。基礎研究では、米国ワシントン大学との共同研究において、前立腺癌培養細胞や動物モデルを使用し、18F-fluorothymidine (FLT) を用いたホルモン抵抗性前立腺癌に対する抗癌剤の抗腫瘍効果のモニター法開発研究を行い、多数の報告を行った。現在は、FLT PET を用いた去勢抵抗性前立腺癌に対するドセタキセルの早期治療を評価する臨床研究を実施中である。また、放射線医学研究所・分子イメージンググループや当大学高エネルギー医学研究センターとの共同研究では、前立腺癌細胞に発現するアンドロゲン受容体に対する 18F-DHT、エストロゲン受容体に対する 18F-ER といった新規トレーサーを用いて、前立腺癌の去勢抵抗性獲得のメカニズムを解明する研究を開始した。

- **特色等**

我が国における腎癌、前立腺癌 PET 診断をリードする研究を行っている。嚢胞性腎癌の診断、再発前立腺癌の部位診断、特に局所再発や骨転移に対する有用性は注目に値する。

2) 腎臓部門

- **研究概要**

家族内発生の先天性水腎症の原因遺伝子として分化制御因子 Id2 を中心に、その遺伝子変異解析を行っている。また、腎動態シンチトレーサーである MAG3 による腎機能評価の結果が併用薬剤の影響を受ける可能性について、近位尿細管に発現する有機アニオントランスポーター (OAT1) 発現との関連について検討を行っている。

- **キーワード**

泌尿生殖器の疾患の治療, 腎移植, 分子メカニズム

- **業績年の進捗状況**

臨床的には、福井県下唯一の献腎移植実施機関として常時移植に備えている。分子遺伝子学教室との共同研究として分化抑制遺伝子 Id2 欠損マウスにみられる水腎症のメカニズムについて病理学的、分子生物学的検討を行ない、また他施設（東北大学、宮城県立こども病院）からの遺伝子サンプル提供を受け、臨床例における Id2 遺伝子解析を、基礎研究として行っている。また、放射線医学研究所との共同研究では、MAG3 が、主に近位尿細管の OAT1 によって輸送されること、そのため OAT1 に親和性を有する薬剤が投与された状態で MAG3 による腎機能評価を行うと、MAG3 の腎尿細管上皮細胞への取り込みが競合阻害されて、その結果、ERPF が過小評価されるなど、腎動態シンチの結果に影響が生じる可能性についての知見を得て、学術論文として発表した。

● 特色等

先天性水腎症を高率に、しかもヒトのパターンに近い形で発症する Id2 遺伝子欠損マウスの解析結果から、ヒト先天性水腎症と Id2 遺伝子の関連が示唆されている。そこで、他施設との共同研究として、家族内発症例のゲノム DNA を集め、Id2 遺伝子異常について 7 家系 28 名のエクソン領域の解析、および連鎖解析が終了した。今後、全ゲノムシーケンス解析を計画している。

3) 下部尿路機能部門

● 研究概要

下部尿路機能障害は高齢化社会の到来に伴って近年、特に注目されている。高齢者に多い脳血管障害や前立腺肥大症、さらには脊髄疾患に伴う過活動膀胱に焦点を当てて神経生理学的、分子薬理学的研究を行なっている。また、福井県の住民健康診査を行っている施設や人間ドックの施設と協力して受診者に質問票を渡して疫学的調査も行っている。メタボリック症候群や生活習慣病と下部尿路症状、特に夜間頻尿とは密接な関連があることが疫学調査の結果から解明された。そしてその予防が症状発現を低下させるのか否かについて動物実験を行っている。下部尿路機能障害については製薬企業との共同研究が盛んで、薬剤作用機序の解明、新たな疾患モデルの開発など積極的な取り組みを行っている。したがって文部科学省研究費ばかりでなく、民間企業から受託研究・共同研究の要請も多く産学連携として広く展開している。

● キーワード

泌尿生殖系の疾患、下部尿路機能、メタボリック症候群、生活習慣病、過活動膀胱、ガイドライン

● 業績年の進捗状況

a) 過活動膀胱の発生メカニズムに関する基礎的研究

過活動膀胱を認める脳梗塞ラットを薬剤のモニターとして用い、これまでの頻尿・尿失禁治療薬や新規薬剤の有効性の予想、作用メカニズムについて膀胱知覚神経(c-fiber)を中心に多くの報告を行なった。そして c-fiber それ自体が上皮からの mediator 放出を調節する作用があること、アドレナリン $\beta 3$ 受容体刺激薬は尿路上皮からの mediator を抑制する作用により末梢知覚神経の遮断効果を発揮すると考えられた。また、食塩感受性高血圧ラットにみられる頻尿のメカニズムに関しては、膀胱血流障害に起因する尿路上皮からの mediator 放出亢進が関与することを報告した。さらにテストステロン欠乏下における下部尿路機能の変化を薬理学的、分子生物学的に解明した。すなわち前立腺や尿道の弛緩反応の増強は神経終末 NOS 発現の減少、PDE5 発現の減少、相対的 cGMP 増加が関与している可能性が示唆された。尿路上皮からの mediator 放出亢進も関連していた。さらに $\alpha 1A$ 受容体遮断薬がメタボリック症候群の病態モデルの膀胱血流を改善し、酸化ストレス軽減、尿路上皮からの mediator 放出抑制効果を有して、これが蓄尿障害の改善をもたらす可能性を報告した。

b) 夜間頻尿に関する臨床的基礎的研究

平成 18-22 年度住民検診における縦断的解析の結果、夜間頻尿を有していると、4 年後のメタボリック症候群発症の危険度が 2.3-2.9 倍高くなることを見出した。また、抗コリン薬が尿産生を抑制することが解明され、そのメカニズムとして膀胱求心路が関与していることも報告した。

c) 前立腺肥大症の成因と治療に関する研究

下部尿路閉塞モデルを用いて、下部尿路閉塞に伴う排尿筋過活動に関して研究を行った。下部尿路閉塞に伴って膀胱上皮からの ATP、PGE2 さらには NGF の放出量が亢進し、c-fiber を介する排尿反射回路の構築が下部尿路閉塞で見られることを明らかにした。また、下部尿路閉塞に伴う排尿筋過活動のサロゲートとされる蓄尿期の排尿に至らない膀胱収縮（NVC）に対する α ブロッカーの抑制効果発現機序に関しては、c-fiber や直接的な膀胱壁内自発収縮発生機構への作用は関与しないこと、膀胱尿路上皮からの PGE2 放出が関連することを報告した。

- **特色等**

日本排尿機能学会は女性下部尿路症状診療ガイドラインを作成したが、その委員として改訂に貢献した。また、過活動膀胱診療ガイドライン改訂版の作成委員としても活躍している。

4) 性機能部門

- **研究概要**

性機能部門は、臨床的には勃起障害 (ED) 外来・男性更年期障害外来にて多数の患者の診療を行っている。また睡眠障害、夜間頻尿および性機能障害の関連を多数のボランティアで検討した。また基礎的研究では中枢性の性機能障害治療薬について新知見を得て、国内外の学会で注目されている。関連施設における人間ドック受診者を対象に、質問紙を用いて性機能に関する調査を行い、各健診データ、基礎疾患、下部尿路症状との関連を調べている。

- **キーワード**

泌尿生殖器の疾患、男性更年期障害、射精障害、泌尿生殖器の疾患の治療、勃起障害、血管内皮機能、疫学調査

- **業績年の進捗状況**

a) 勃起障害 (ED)、夜間頻尿および睡眠障害の関連

青壮年期ボランティア 315 名を対象に ED、夜間頻尿に共通する危険因子を質問紙で検討した。ED の重症度は下部尿路症状、特に夜間頻尿と強く関連した。ED、夜間頻尿に共通する危険因子は年齢、排出症状、睡眠障害、糖尿病であり、多変量解析にて年齢、睡眠障害、夜間頻尿は ED に独立して関連していた。

b) 中枢性性機能改善薬の基礎的研究

心理ストレス負荷により抑制された雄性ラット性行動をメラノコルチン作動薬 melanotan II が改善させることを確認し、新規の性機能改善薬としての可能性を示唆させた。

c) 副腎性アンドロゲン (DHEA) と睡眠障害の関連

男性ボランティア 148 名を対象に睡眠障害と血中性ホルモン値の関連を検討し、睡眠障害の重症度は血中 DHEA-S 値と有意に正に相関することを見出した。

- **特色等**

当部門の特色として勃起障害、射精障害などの性機能障害を下部尿路機能、睡眠障害あるいは心理的ストレスとの関連からアプローチする手法で研究している。また、本邦ではまだ十分な調査が行われていない女性性機能に関する疫学調査も行っており、下部尿路症状との関連性も見出している。

5) 排尿ケア部門

- **研究概要**

排尿ケア部門は、臨床的には長期尿道カテーテル留置患者における様々なトラブル対策を行っている。具体的には、カテーテル閉塞の危険因子解析、閉塞に対するクランベリージュースの予防効果、カテーテルの形状や材質による閉塞度合の差、などについて、関連病院の要介護度の高い患者を対象に調査を行っている。また、長期尿道カテーテル留置患者に対する看護師主導のカテーテル抜去

パスを作成し、関連病院においてその有効性を評価する。

● キーワード

尿道カテーテル，長期留置，感染，閉塞

● 業績年の進捗状況

関連病院を中心に、長期尿道カテーテル留置患者に起こるカテーテル閉塞というトラブルに関する調査を行った。カテーテル閉塞する因子として、尿量の日内変動の大きさ、全身状態の悪化度、経口摂取の有無、などが関連していた。最近開発された銀を練り込んだシリコンカテーテルを用いた比較試験を行い、その閉塞予防効果を認めた。また不必要な尿道カテーテル抜去を系統的に行えるように、看護師主導で行えるクリティカルパスを作成し、関連施設2カ所においてカテーテル留置率を下げることに成功している（指導した関連施設の演題が第21回日本慢性期医療学会賞受賞した）。

● 特色等

現在、寝たきり患者が増加している我が国においては、長期尿道カテーテル留置中の患者に起こるカテーテル閉塞は大きな問題となっている。常勤泌尿器科医がいない病院、施設において、その対処法、あるいは不必要なカテーテルを抜去する適切な方法には、まだ確立されたものはなく、大学と民間病院とが協力しながら行う画期的な取り組みである。

3. 研究実績

区 分		編 数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分
和文原著論文		24	0	—————	—————
英文論文	ファーストオーサー	48	7	73.645 (70.222)	11.180 (7.757)
	コレスポンデイングオーサー	38	4	66.414 (62.991)	11.180 (7.757)
	その他	25	8	46.234 (43.890)	7.675 (7.675)
	合計	74	15	123.540 (117.773)	18.855 (15.432)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

(1341103)

+A. Mally, Y. Matsuta, +F. Zhang, +B. Shen, +J. Wang, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Role of opioid and metabotropic glutamate 5 receptors in pudendal inhibition of bladder overactivity in cats. J Urol, 189 (4) , 1574-1579, 2013.04, DOI; 10.1016/j.juro.2012.09.095.

(1341104)

Y. Matsuta, +A. Mally, +F. Zhang, +B. Shen, +J. Wang, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Contribution of opioid and metabotropic glutamate receptor mechanisms to inhibition of bladder overactivity by tibial nerve stimulation. Am J Physiol Renal Physiol, 305 (2) ,

R126-R133, 2013. 07

(1341105)

+Z. Schwen, Y. Matsuta, +B. Shen, +J. Wang, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Combination of foot stimulation and tolterodine treatment eliminates bladder overactivity in cats. Neurourol Urodyn, 2013.08, DOI; 10.1002/nau.22479.

(1341106)

+Z. Schwen, Y. Matsuta, +B. Shen, +J. Wang, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Involvement of 5-HT3 receptors in pudendal inhibition of bladder overactivity in cats. Am J Physiol Renal Physiol, 305 (5) , F663-F671, 2013.09, DOI; <http://dx.doi.org/10.1152/ajprenal.00105.2013>

(1341107)

Y. Matsuta, +Z. Schwen, +A. Mally, +B. Shen, +J. Wang, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Effect of methysergide on pudendal inhibition of micturition reflex in cats. Exp Neurol, 247, 250-258, 2013.09, DOI; <http://dx.doi.org/10.1016%2Fj.expneurol.2013.05.006>

(1341108)

+Z. Schwen, Y. Matsuta, +B. Shen, +J. Wang, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Inhibition of bladder overactivity by duloxetine in combination with foot stimulation or WAY-100635 treatment in cats. Am J Physiol Renal Physiol, 305 (12) , F1663-F1668, 2013.12, DOI; <http://dx.doi.org/10.1152/ajprenal.00523.2013>

(1341109)

Y. Matsuta, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Poststimulation inhibition of the micturition reflex induced by tibial nerve stimulation in rats. Physiological reports, 2 (1) , 2014.01, DOI; <http://dx.doi.org/10.1002/phy2.205>

(1341110)

+K. Kaneko, Y. Matsuta, +M. Moriyama, +M. Yasuda, +N. Chishima, +N. Yamada, +T. Fukuuchi, +K. Miyazawa, +K. Suzuki: Proteomic analysis of a rare urinary stone composed of calcium carbonate and calcium oxalate dihydrate: A case report. International Journal of Urology, 21 (3) , 341-346, 2014.03 (症例報告)

1441001

+T. Yamanishi, +Y. Homma, +O. Nishizawa, +K. Yasuda, O. Yokoyama: Multicenter, randomized, sham-controlled study on the efficacy of magnetic stimulation for women with urgency urinary incontinence. Int J Urol, 21 (4) , 395-400, 2014.04, #1.910, DOI; 10.1111/iju.12289

1441002

H. Akino, +M. Namiki, +K. Suzuki, +H. Fuse, +Y. Kitagawa, +K. Miyazawa, +Y. Fujiuchi, O. Yokoyama: Factors influencing patient satisfaction with antimuscarinic treatment of overactive bladder syndrome: Results of a real-life clinical study. Int J Urol, 21 (4) , 389-394, 2014.04, #1.910, DOI; 10.1111/iju.12298

1441003

O. Yokoyama, +S. Hiro, +S. Hotta, +S. Mogami, +H. Yamagami: Efficacy of fesoterodine on nocturia and quality of sleep in asian patients with overactive bladder. Urology, 83 (4) , 750-755, 2014.04, #2.424, DOI; 10.1016/j.urology.2013.12.008

1441004

+J. Reese, +Z. Xiao, +Z. Schwen, Y. Matsuta, +B. Shen, +J. Wang, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Effects of Duloxetine and WAY100635 on Pudendal Inhibition of Bladder Overactivity in Cats. J Pharmacol Exp Ther, 349 (3) , 402-407, 2014.06, #3.855, DOI; <http://dx.doi.org/10.1124/jpet.113.211557>

1441005

O. Yokoyama, +A. Tsujimura, H. Akino, +N. Segawa, +S. Tamada, +N. Oguchi, +Y. Kitagawa, +H. Tsuji, +A. Watanabe, +T. Inamoto, +N. Shimizu, +Y. Fujiuchi, +Y. Katsuoka, +H. Azuma, +T. Matsuda, +M. Namiki, +H. Uemura, +A. Okuyama, +H. Fuse, +T. Nakatani: Add-on anticholinergic therapy for residual nocturia in patients with lower urinary tract symptoms receiving α 1-blocker treatment: a multi-centre, prospective, randomised study. World J Urol, 2014.09, #3.423, DOI; 10.1007/s00345-014-1399-x

1441006

+Sengoku A, +Okamura K, +Kimoto Y, +Ogawa T, +Namima T, +Yamanishi T, +Yokoyama T, H. Akino, +Maeda: Botulinum toxin A injection for the treatment of neurogenic detrusor overactivity secondary to spinal cord injury: Multi-institutional experience in Japan. Int J Urol, 2014.11, #1.910

b. 総説

1441007

Hideaki Ito, Osamu Yokoyama: metabolic syndrome and lower urinary tract symptoms. World Journal of Clinical Urology, 3, 330-335, 2014.11, #3.423

(2) 和文：著書等 (proceedings を除く)

a. 著書 (分担執筆)

(1341111)

横山 修：前立腺肥大症の疫学と診断：日本医師会雑誌，日本医師会，2014.02

1441008

横山 修：第 29 回欧州泌尿器科学会 (29th Annual EAU Congress) 印象記：排尿障害プラクティス，メディカルレビュー社，2014.06

1441009

横山 修：序文：泌尿器外科，医学図書出版株式会社，2014.07

1441010

横山 修：排尿障害の病態-全身疾患を含めて-：本間 之夫(編)：Geriatric Medicine 老年医学，ライフサイエンス，2014.09

1441011

青木 芳隆，横山 修：夜間頻尿：後藤 百万(編)：プライマリケア医のための LUTS 診療ハンドブック，1，中外医学社，126-137，2014.04

1441012

秋野 裕信，横山 修：治療法紹介 フェソテロジン (トビエース®)：排尿障害プラクティス，メディカルレビュー社，2014.09

b. 編集・編集・監修

(1341112)

横山 修: 女性下部尿路症状診療ガイドライン, 1, リッチヒルメディカル, 2013.11

1441013

横山 修: Linkage 医師と保険薬局のコミュニケーション 副作用をめぐる医薬連携「排尿障害」, アボットジャパン株式会社, 2014.08

(3) 和文: 論文等

c. 総説

1441014

大山 伸幸, 土山 克樹, 横山 修: PET 検査. 臨床泌尿器科, 68 (4), 82-86, 2014.04 (資料・解説)

1441015

伊藤 秀明: 尿路系カテーテルのすべて. レジデントノート, 16 (11), 188-194 (2152-2158), 2014.11 (資料・解説)

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

1441016

O.Yokoyama: Lifestyle-related diseases and LUTS, International Neurourology Journal, State-of-the-art-lecture1, 2014.09

1441017

O.Yokoyama: Lifestyle Disease and LUTS, The 34th Congress of the SIU, 2014.10

b. シンポジスト・パネリスト等

1441018

M.Okada, Y.Aoki, *Y.Kusaka, O.Yokoyama: Impaired glucose tolerance is associated with lower urinary tract symptoms and erectile dysfunction in japanese workers., The 9th Japan-ASEAN Conference on Men's Health and Aging, 2014.06

c. 一般講演 (ポスター)

1441019

*K. Shimizu, *N. Kosaka, *Y. Fujiwara, +T. Mastuda, *T. Yamamoto, *T. Tsuchida, K. Tsuchiyama, N. Oyama, *H. Kimura: Arterial transit time-corrected renal blood flow measurement by pulsed continuous arterial spin labeling MRI: a feasibility and validation study in healthy volunteers., Joint Annual Meeting ISMRM-ESMRMB 2014, 2014.05, Milan (Italy)

1441020

*N. Kosaka, K. Tsuchiyama, *K. Shimizu, *Y. Fujiwara, +T. Matsuda, *T. Yamamoto, *T. Tsuchida, N. Oyama, *H. Kimura: Pulsed-continuous arterial spin labeling MRI with multiple post-labeling delay in renal cell carcinoma: clinical feasibility and initial results of a comparative study with parametric dynamic contrast-enhanced MRI., Joint Annual Meeting ISMRM-ESMRMB 2014, 2014.05, Milan (Italy)

1441021

N. Oyama, Y. Hasegawa, K. Tsuchiyama, M. Taga, H. Ito, H. Akino, *H. Okazawa, O. Yokoyama: Preclinical assessment of early therapeutic effect of sunitinib on renal cell carcinoma using 18F-fluorothymidine positron emission tomography in a xenograft model, AUA Annual Meeting 2014, 2014.05

1441022

+J. Reese, +M. Rogers, +Z. Xiao, +Z. Schwen, Y. Matsuta, +B. Shen, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Effect of duloxetine on pudendal inhibition of bladder overactivity in cats, AUA Annual Meeting 2014, 2014.05

1441023

Y. Matsuta, +J. Roppolo, +W. deGroat, O. Yokoyama, +C. Tai: Post-stimulation inhibition of bladder activity induced by tibial nerve stimulation in rats, AUA Annual Meeting 2014, 2014.05

1441024

+Z. Schwen, Y. Matsuta, +B. shen, +J. Reese, +J. Wang, +J. Roppolo, +W. deGroat, +C. Tai: Combination of foot stimulation and tolterodine eliminates bladder overactivity in cats, AUA Annual Meeting 2014, 2014.05

1441025

Y. Matsuta, +B. Shen, +J. Roppolo, +W. deGroat, O. Yokoyama, +C. Tai: Microstimulation of hippocampus inhibits micturition reflex in urethane-anesthetized rats, AUA Annual Meeting 2014, 2014.05

1441026

T. Kurokawa, K. Nagase, X. Zha, O. Yokoyama: Urine storage dysfunction in rats with salt-loading hypertension on increase in ATP and PGE2 release from the urothelium, AUA Annual Meeting 2014, 2014.05

1441027

R. Yokokawa, H. Akino, K. Nagase, O. Yokoyama: Functional changes in the bladder wall may be involved in the pathophysiology of detrusor overactivity induced cerebral infarction in the rat, AUA Annual Meeting 2014, 2014.05

1441028

Y. Matsuta: Microstimulation of hippocampus inhibits micturition reflex in urethane-anesthetized rats, The 34th Congress of the SIU, 2014.10

1441029

Y. Matsuta, +Z. Schwen, +A. Mally, +B. Shen, +J. Wang, +J. Roppolo, +W. deGroat, O. Yokoyama, +C. Tai: Involvement of 5-HT Receptor Subtypes in Pudendal Nerve Inhibition of Nociceptive and Non-Nociceptive Bladder Activity in Anesthetized Cats., ICS 2014, 2014.10

1441030

M. Seki, H. Yamauchi, Y. Matsuta, Y. Aoki, H. Akino, O. Yokoyama: Relationship Between Lifestyle Diseases and The Frequency of Medical Therapies for Lower Urinary

Tract Symptoms: Analysis of 60,000 Aging Males and Females., ICS 2014, 2014.10

1441031

Y. Aoki, S. Yokoi, M. Okada, Y. Matsuta, *C. Matsumoto, *Y. Kusaka, O. Yokoyama: Natural History of Nocturia Among Japanese Men and Women During the 5-Year Period from 2003 to 2007., 44th Annual Meeting of the International-Continence-Society (ICS), 2014.10

1441032

Y. Matsuta, +B. Shen, +J. Roppolo, +W. deGroat, O. Yokoyama, +C. Tai: Hippocampal Microstimulation Inhibits Micturition Reflex in Urethane-Anesthetized Rats., ICS2014, 2014.10

1441033

K. Nagase, H. Akino, M. Seki, R. Yokokawa, O. Yokoyama: Contribution of Antimuscarinics to Spontaneous Bladder Contraction in the Isolated Rat Bladder., ICS2014, 2014.10

1441034

H. Akino, R. Yokokawa, Y. Matsuta, H. Ito, N. Oyama, +M. Nojiri, O. Yokoyama: Location of the Desire to Void and Urinary Urgency in Male Patients with Lower Urinary Tract Symptoms., ICS 2014, 2014.10

1441035

+Pesonen J S, +Cartwright R, +Santti H, +Mangera A, +Tähtinen R M, +Griebeling T L, +Riikonen J, +Pryalukhin A Y, +Tsui J F, Y. Aoki, +Guyatt G H, +Tikkinen K A O: The impact of nocturia on mortality: a systematic review and meta-analysis, 44th Annual Meeting of the International-Continence-Society (ICS), 2014.10, Rio de Janeiro (Brazil), NEUROUROLOGY AND URODYNAMICS, 33 (6) , 783-784, 2014.08

1441036

Y. Matsuta, +B. Shen, +J. Roppolo, +W. de Groat, +C. Tai, O. Yokoyama: Microstimulation of Hippocampus Inhibits Micturition Reflex in Urethane-Anesthetized Rats, The 34th Congress of the SIU, **Moderated Poster Session5 Urinary Incontinence**, 2014.10, Glasgow(Scotland)

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

(1341113)

横山 修: 生活習慣病と夜間頻尿, 第 10 回夜間頻尿を考える会, 夜間頻尿を考える会 10 周年記念講演, 2014.02, 福岡県 (福岡市)

1441037

松田 陽介, 横山 修: 中枢作用に注目した蓄尿障害治療法の開発, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014.04

1441038

横山 修: 過活動膀胱治療—その有効性と安全性を高めるために—, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014.04

1441039

青木 芳隆: 生活習慣病と LUTS—疫学データからの考察—, 第 27 回日本老年泌尿器科学会, 2014.06

1441040

横山 修: Male LUTS/BPH とテストステロン, 第 14 回日本 Men's Health 医学会アフタヌーンセミナー, 2014. 09

1441041

横山 修: BPH/LUTS とテストステロン-PDE5 阻害薬の新たな可能性とは-, 第 28 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2014. 11

b. シンポジスト・パネリスト等

1441042

山内 寛喜: 疫学からみた生活習慣病と LUTS, 第 21 回日本排尿機能学会, 生活習慣病と排尿機能〜アンチエイジングを考える〜, 2014. 09

1441043

松田 陽介, 横山 修: Male LUTS/ED 共通する発症メカニズムからの考察, 第 25 回日本性機能学会, male LUTS 治療と Sexuality, 2014. 09

1441044

横山 修: PDE5 阻害薬は第一選択薬になりうるのか?, 第 21 回日本排尿機能学会, 第 21 回日本排尿機能学会 イブニングセミナー, 2014. 09, 岡山県 (岡山市)

c. 一般講演 (口演)

(1341114)

黒川 哲之, +小林 憲市, +松本 富美, +島田 憲次: 先天性前部尿道弁 6 例の検討, 日本小児泌尿器科学会, 2013. 07, 東京都江東区

(1341115)

青木 芳隆: 夜間頻尿の疫学調査からわかったこと, 第 10 回夜間頻尿を考える会, セッション 3 未来に向けての研究, 2014. 02, 福岡県 (福岡市)

1441045

*K. Shimizu, *N. Kosaka, *Y. Fujiwara, +T. Mastuda, *T. Yamamoto, *T. Tsuchida, K. Tsuchiyama, N. Oyama, *H. Kimura: Arterial transit time-corrected renal blood flow measurement by pulsed-continuous arterial spin labeling MRI: feasibility and validation study in healthy volunteers, 第 73 回日本医学放射線学会総会, 2014. 04, 横浜市

1441046

大山 伸幸, 長谷川 陽子, 稲村 聡, 多賀 峰克, 土山 克樹, 伊藤 秀明, 三輪 吉司, 秋野 裕信, *辻川 哲也, *岡沢 秀彦, 横山 修: 腎細胞癌における ACSS2 発現評価を目的とした C11-acetate PET の臨床研究, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441047

横川 竜生, 秋野 裕信, 長瀬 桂子, 査 新民, 横山 修: 脳梗塞に伴う排尿筋過活動における C 線維・膀胱上皮メディエータ・膀胱自律収縮の関与, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441048

秋野 裕信, 長瀬 桂子, 横川 竜生, 山内 寛喜, 伊藤 秀明, 大山 伸幸, 三輪 吉司, 横山 修: $\alpha 1$ 遮断薬が下部尿路閉塞ラットの non-voiding contraction (NVC) を抑制する機序に関する検

討, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441049

小林 久人, 関 雅也, 松田 陽介, 石田 泰一, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 大山 伸幸, 三輪 吉司, 秋野 裕信, 横山 修: 過活動膀胱患者における服薬継続に関する解析, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441050

高山 哲也, 秋野 裕信, 横川 竜生, 松田 陽介, 青木 芳隆, 大山 伸幸, 三輪 吉司, +稲場 アケミ, +野尻 正憲, 横山 修: 男性下部尿路症状患者が尿意・尿意切迫感を感じる部位に関する予備研究, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441051

青木 芳隆, 岡田 昌裕, 松田 陽介, *松本 智恵子, *日下 幸則, 横山 修: 住民健診受診者を対象とした縦断的解析からわかった夜間頻尿の変動について, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441052

秋野 裕信, 長瀬 桂子, 横川 竜生, 査 新民, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 大山 伸幸, 横山 修: 脳梗塞ラット摘出全膀胱の伸展に伴う膀胱内圧変化に対する fasudil の効果に関する検討, 第 21 回日本排尿機能学会, 2014. 09

1441053

青木 芳隆, *松本 智恵子, 岡田 昌裕, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 大山 伸幸, 秋野 裕信, *日下 幸則, 横山 修: 夜間頻尿の変動パターンからみた、経過観察という治療方針の可能性ー住民健康診査受診者における縦断解析結果ー, 第 21 回日本排尿機能学会, 2014. 09

1441054

松田 陽介, 横井 聡始, *橋本 儀一, 青木 芳隆, 秋野 裕信, 横山 修: 難治性過活動膀胱患者が自宅で実施できる neuromodulation therapy の開発, 第 21 回日本排尿機能学会, 2014. 09

1441055

王 東, 査 新民, 長瀬 桂子, 秋野 裕信, *村松 郁延, 横山 修: テストステロン低下が下部尿路機能に与える影響ー膀胱、尿道にとってテストステロンは悪玉か善玉か?ー, 第 21 回日本排尿機能学会, 2014. 09

1441056

*K. Shimizu, *N. Kosaka, *Y. Fujiwara, +T. Mastuda, *T. Yamamoto, *T. Tsuchida, K. Tsuchiyama, N. Oyama, *H. Kimura: multiple post-labeling delay 撮影を併用した pulsed continuous arterial spin labeling 法による動脈到達時間補正腎血流量の測定, 第 42 回日本磁気共鳴医学会大会, 2014. 09, 京都府

1441057

王 東, 査 新民, 長瀬 桂子, 秋野 裕信, *村松 郁延, 横山 修: T-03. テストステロン低下が下部尿路機能に与える影響, 第 14 回日本 Men'sHealth 医学会 第 5 回テストステロン研究会, 2014. 09

1441058

青木 芳隆, +三谷 陽香, +水野 孝映, +内方 ゆかり, +木村 知行, 横山 修: 尿道カテーテル

抜去パスの作成とその取り組み, 第 15 回日本クリニカルパス学会, 2014. 11

1441059

横山 修: $\alpha 1$ 遮断薬、PDE5 阻害薬による膀胱血流の改善効果, 第 17 回 UTP シンポジウム, 下部尿路機能障害と骨盤内血流, 2015. 01, 東京都 (文京区)

1441060

黒川 哲之: 20 代に頻尿症状を発症した男性の 1 例, 第 5 回 UDS フォーラム, 2015. 02

d. 一般講演 (ポスター)

1441061

関 雅也, 山内 寛喜, 岡田 昌裕, 青木 芳隆, 横山 修: 慢性疾患にて一般医家通院中の 60, 034 名における lower urinary tract symptoms (LUTS) 治療率と生活習慣病の相関に関する検討, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441062

土山 克樹, 伊藤 秀明, 稲村 聡, 多賀 峰克, *小林 基弘, 横山 修: 腎癌における microRNA の発現解析, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441063

横井 聡始, 松田 陽介, 小林 久人, 関 雅也, 横川 竜生, 渡邊 望, +長嶋 洋治, +古屋 充子, +黒田 直人, 秋野 裕信, 横山 修: Birt-Hogg-Dube 症候群に発生した腎細胞癌の 2 例, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441064

岡田 昌裕, 青木 芳隆, 秋野 裕信, *日下 幸則, 横山 修: 労働者対象の人間ドック受診者における耐糖能異常と LUTS の関係, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441065

黒川 哲之, 査 新民, 長瀬 桂子, 横山 修: 食塩過剰摂取による高血圧と膀胱血流障害に関する実験的研究, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441066

査 新民, 王 東, 長瀬 桂子, 秋野 裕信, 横山 修: OLETF ラットの膀胱血流障害と蓄尿障害に対するシロドシンの効果, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441067

稲村 聡, 伊藤 秀明, 多賀 峰克, 土山 克樹, *小林 基弘, 横山 修: 前立腺癌細胞株における Docetaxel と mTOR 阻害薬併用による抗腫瘍効果の検討, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441068

伊藤 秀明, 土山 克樹, 稲村 聡, 多賀 峰克, 横山 修: 前立腺全摘出後の PSA 再発予測に対する microRNA 発現解析の有用性の検討, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441069

多賀 峰克, 伊藤 秀明, 稲村 聡, 土山 克樹, *小林 基弘: mTOR 阻害薬とオートファジー阻害剤の併用は腎癌細胞増殖を抑制する, 第 102 回日本泌尿器科学会総会, 2014. 04

1441070

***知野 陽子**, +棚瀬 和弥, 関 雅也, 横山 修, *吉田 好雄: 膀胱瘤を合併した子宮脱症例に対する手術療法～当院での試み～, 第 16 回日本女性骨盤底医学会, 2014. 07, 弘前市

1441071

横井 聡始, 小林 久人, 関 雅也, 青木 芳隆, 横山 修, *法木 左近: 高カルシウム血症を認めた尿管扁平上皮癌の一例, 第 52 回日本癌治療学会, 2014. 08

1441072

横川 竜生, 秋野 裕信, 長瀬 桂子, 横山 修: 脳梗塞ラット摘出全膀胱の膀胱上皮メディエータ放出量・膀胱内圧に対するレジニフェラトキシンの影響に関する検討, 第 21 回日本排尿機能学会, 2014. 09

1441073

横川 竜生, 秋野 裕信, 長瀬 桂子, 横山 修: 脳梗塞ラットモデルにおける mirabegron および BRL37344 による $\beta 3$ アゴニストの膀胱機能に対する効果の検討, 第 21 回日本排尿機能学会, 2014. 09

1441074

長瀬 桂子, 秋野 裕信, 関 雅也, 横川 竜生, 横山 修: ラット摘出膀胱の自律収縮に対する抗ムスカリン薬の影響について, 第 21 回日本排尿機能学会, 2014. 09

1441075

査 新民, 王 東, 長瀬 桂子, 秋野 裕信, 横山 修: マイクロアレイ法による OLET 法ラットの蓄尿障害に関する遺伝子の発現解析, 第 21 回日本排尿機能学会, 2014. 09

1441076

青木 芳隆, 岡田 昌裕, 茂原 明子, 横井 聡始, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 大山 伸幸, 秋野 裕信, 横山 修: 労働者を対象とした人間ドック受診男性の性機能と下部尿路症状に関する調査, 第 25 回日本性機能学会, 2014. 09

1441077

伊藤 秀明, 山内 寛喜, 関 雅也, 多賀 峰克, 横山 修: 当院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の初期経験, 第 28 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2014. 11, 福岡県 (福岡市)

1441078

関 雅也, 伊藤 秀明, 谷尾 信, 多賀 峰克, 土山 克樹, 大山 伸幸, 秋野 裕信, 横山 修: 馬蹄腎に発生した多発腎盂結石に対して腹腔鏡下腎盂切石術を施行した 1 例, 第 28 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2014. 11, 福岡県 (福岡市)

1441079

横井 聡始, 青木 芳隆, 岡田 昌裕, 横川 竜生, 伊藤 秀明, 大山 伸幸, 秋野 裕信, 横山 修: 当院における緊急尿管ステント留置術を必要とした 80 症例の検討, 第 28 回日本泌尿器内視鏡学会総会, 2014. 11, 福岡県 (福岡市)

(3) 国内学会 (地域レベル)

a. 一般講演 (口演)

(1341116)

***白藤 法道**, *松永 晶子, *松本 梓, *向井 萌, *川崎 公美恵, 土山 克樹, *山村 修, *濱野 忠則: 早期より排尿障害がみられた無菌性髄膜炎の 1 例, 第 222 回日本内科学会北陸地方会, 2014. 03, 福井

1441080

大山 伸幸, 土山 克樹, 伊藤 秀明, 横山 修, *辻川 哲也, *岡沢 秀彦: 酢酸 PET を用いた腎癌組織における脂肪酸合成酵素発現評価のための臨床研究, 第 444 回日本泌尿器科学会北陸地方会, 2014. 06

1441081

伊藤 秀明, 山内 寛喜, 関 雅也, 多賀 峰克, 大山 伸幸, 秋野 裕信, 横山 修: 福井大学におけるロボット支援服窮境下前立腺全摘除術の初期経験, 第 19 回北陸前立腺癌研究会, 2014. 06

1441082

松田 陽介, 青木 芳隆, 秋野 裕信, 横山 修: 難治性過活動膀胱患者に対する末梢体性神経電気刺激の効果, 第 445 回日本泌尿器科学会北陸地方会, 2014. 09

1441083

伊藤 秀明, 稲村 聡, +小松 和人, +平田 昭夫, +小林 忠博, +三原 信也, +澤田 樹佳, +岩堀 嘉郎, 横山 修: 福井県における去勢抵抗性前立腺癌に対するエンザルタミドの使用経験, 第 18 回北陸腎泌尿器癌研究会, 2014. 09

1441084

稲村 聡, 大山 伸幸, 青木 芳隆, 岡田 昌裕, 伊藤 秀明, 秋野 裕信, 横山 修, *木下 聡子, *朝日 智子, *塩浦 宏樹, *木村 浩彦, +佐藤 義高: 高リスク前立腺癌に対する密封小線源の有用性に関する検討, 第 64 回日本泌尿器科学会中部総会, 2014. 10

1441085

大山 伸幸, 青木 芳隆, 稲村 聡, 岡田 昌裕, 横山 修, *木下 聡子, *朝日 智子, *塩浦 宏樹, *木村 浩彦, +佐藤 義高: 当院における前立腺癌に対する密封小線源の初期治療成績, 第 66 回西日本泌尿器科学会総会, 2014. 11

1441086

谷尾 信, 伊藤 秀明, 土山 克樹, 黒川 哲之, 大山 伸幸, 秋野 裕信, 横山 修: 腎 solitary fibrous tumor の 1 例, 第 446 回 日本泌尿器科学会北陸地方会, **症例報告**, 2014. 12

1441087

秋野 裕信, 横川 竜生, 関 雅也, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 大山 伸幸, 横山 修, +野尻 正憲: 男性下部尿路症状患者が尿意・尿意切迫感を感じる部位に関する研究, 第 446 回 日本泌尿器科学会北陸地方会, **臨床研究**, 2014. 12, 金沢

1441088

黒川 哲之, 査 新民, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 秋野 裕信, *小林 基弘, 横山 修: 食塩過剰摂取による高血圧と膀胱血流障害に関する実験的研究, 第 19 回北陸泌尿器科 Basic Research Meeting, **一般演題 1**, 2015. 03, 金沢市 (石川県)

1441089

横井 聡始, 青木 芳隆, 谷尾 信, 伊藤 秀明, 大山 伸幸, 秋野 裕信, 横山 修: 前立腺生検後に精路感染を繰り返した一例, 第 447 回日本泌尿器科学会北陸地方会, **症例報告**, 2015. 03, 金沢市 (石川県)

1441090

青木 芳隆, 横井 聡始, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 大山 伸幸, 秋野 裕信, 横山 修: 当院における精策静脈瘤手術の検討, 第 447 回日本泌尿器科学会北陸地方会, **臨床研究**, 2015.03, 金沢市 (石川県)

b. 一般講演 (ポスター)

1441091

山内 寛喜, 岡田 昌裕, 多賀 峰克, 大山 伸幸, 横山 修: 高齢発症の精巣捻転の 1 例, 第 64 回日本泌尿器科学会中部総会, 2014.10

c. その他

1441092

谷尾 信, 小林 久人, 横井 聡始, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 大山 伸幸, 秋野 裕信, 横山 修, *今村 好章: 性腺外胚細胞腫の治療約 8 年後に発生した精巣腫瘍の 1 例, 第 444 回日本泌尿器科学会北陸地方会, **症例報告**, 2014.06

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1441093

O.Yokoyama: Lifestyle-related disease and LUTS, 2014 KCS annual meeting, 2014.09

b. 一般講演 (口演)

1441094

青木 芳隆, 岡田 昌裕, 横川 竜生, 横山 修: 看護師主導による尿道カテーテル抜去パスの作成とその取り組み, 第 27 回北陸排尿障害研究会, 2014.07

1441095

*西川 雄大, *横山 由就, *今田 麻美子, *森田 紗由, *森川 幸恵, *東谷 佐知子, *横井 靖二, *三上 大輔, *高橋 直生, *糟野 健司, *岩野 正之, *木村 秀樹, 土山 克樹, 伊藤 秀明, 秋野 裕信, 横山 修: 献腎移植後に頻回にサイトメガロウイルス感染症を繰り返す 1 例, 第 22 回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会, 2014.10, 金沢市, 第 22 回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会 (プログラム)

(C) その他業績

- 大山 伸幸, +Michael J. Welch: In Vitro and In vivo Assessment of 18F-fluorothymidine as a Proliferation Marker in Androgen Dependent Prostate Tumor Model, Washington University との共同研究, 2003.04~
- 大山 伸幸, +Farrokh Dehdashti, +Barry A. Siegel, +Adam S. Kibel, +Jeff M. Michalski, +Cary L. Siegel, +Katherine Trinkaus, +Michael J. Welch, +Gerald L. Andriole, +Peter A. Humphrey: Positron Emission Tomography in Prostate Cancer, Washington University との共同研究, 2003.04~
- 大山 伸幸, +Jason S. Lewis, +Michael J. Welch: Delineating the Effects of Tumor Therapies on Prostate Cancer Using Small Animal Imaging Technologies, Washington University との共同研究, 2004.02~
- 青木 芳隆: a systematic review with meta-analyses and meta-regression. PROSPERO Resistration no.CRD42014007490., Systematic review teamに参加, 2012.01~
- 青木 芳隆: Long-term impact of delivery mode on stress urinary incontinence and urgency urinary incontinence. PROSPERO Resistration no. CRD42013006213., Systematic review teamに

参加, 2013. 01～
• 横山 修, +後藤 百万: 夜間頻尿の診断と治療のポイント, 座談会, 2014. 05
• 横山 修: 夜間頻尿 UPDATE, 紙上講演会, 2014. 05
• 横山 修, +本間 之夫, +高橋 悟, +後藤 百万, +武田 正之, +井川 靖彦: 前立腺肥大症薬物治療の新たな展開-PDE5 阻害薬の登場-, 座談会, 2014. 05
• 横山 修, +本間 之夫, +山西 友典, +石塚 修: BPH/LUTS の新たな治療アルゴリズムとは, 座談会, 2014. 07
• 横山 修, +河内 明宏, +三木 恒治: Male LUTS へのアプローチ, 座談会, 2015. 01

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	研究種目	課 題 名	代表者名	分担者名	期 間 (年度)	金 額 (配分額)
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(A) (一般)	腫瘍分子イメージングによる効果的がん治療法開発のための総合研究	*岡沢 秀彦	大山 伸幸	2014	6,890 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	neuromodulation : 神経可塑への作用は過活動膀胱の新治療となり得るか	松田 陽介	横山 修	2014	1,950 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	腎癌に対する FLT PET を用いた分子標的薬の早期治療効果判定のための臨床研究	大山 伸幸	伊藤 秀明, 横山 修, 多賀 峰克	2014	1,690 千円
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(C) (一般)	オートファジーの制御は前立腺癌治療のプレイクスルーとなりえるか	伊藤 秀明	多賀 峰克, 横山 修, 稲村 聡	2014	1,040 千円
文部科学省科学 研究費補助金	挑戦的萌芽研究	メタボ時代の夜間頻尿対策: 膀胱 C 線維遮断は夜間多尿を改善する?	岡田 昌裕	横山 修, 青木 芳隆, 横井 聡始, 関 雅也	2014	2,080 千円
文部科学省科学 研究費補助金	挑戦的萌芽研究	慢性心理ストレスは脳由来 CRF を介して膀胱知覚過敏・間質性膀胱炎を引き起こす?	横山 修	伊藤 秀明, 青木 芳隆, 関 雅也, 横川 竜生	2014	1,300 千円
文部科学省科学 研究費補助金	若手研究(B)	下部尿路機能障害治療薬による膀胱血流改善の新しい視点からの検証と低活動膀胱の抑制	横川 竜生		2014	1,690 千円

文部科学省科学 研究費補助金	若手研究 (B)	PET を用いた腎 癌に対する分子 標的薬の早期治 療効果判定のた めの基礎的検討	多賀 峰 克		2014	2,080 千円
-------------------	----------	---	-----------	--	------	----------

(B) 奨学寄附金

受入件数	19 件
受入金額	13,750,000 円

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	第 36 回福井泌尿器科フォーラム	2014. 11. 20	福井県
その他の研究集会	主催者	第 16 回福井感染症研究会	2015. 03. 12	福井市 (福 井県)

(B) 学会の実績

学会の名称	役職名	氏名
日本排尿機能学会	理事長	横山 修
日本排尿機能学会	理事	横山 修
日本Men's Health 医学会	理事	横山 修
日本泌尿器科学会	理事	横山 修
日本性機能学会	理事	横山 修
日本性機能学会	理事	横山 修
日本泌尿器科学会	理事	横山 修
日本女性骨盤底医学会	理事	横山 修
日本アンドロロジー学会	監事	横山 修
日本アンドロロジー学会	評議員	横山 修
日本排尿機能学会	評議員	横山 修
日本性機能学会	中部地区世話人	横山 修
日本老年泌尿器科学会	評議員	横山 修
日本脊髄障害医学会	評議員	横山 修
日本泌尿器科学会	ボーディングメンバー	横山 修
International Journal of Urology	Editorial Board	横山 修

ニッパ創 内視鏡下泌尿器手術研究会	世話人	横山 修
日本排尿機能学会	事務局長	横山 修
日本泌尿器科学会	生殖・ゲノム委員会 委員長	横山 修
日本泌尿器科学会	教育委員会委員	横山 修
日本泌尿器科学会	専門医制度審議会 委員	横山 修
日本泌尿器科学会	専門領域委員会 排尿機能・神経泌尿器科 副部長	横山 修
日本排尿機能学会	理事	秋野 裕信
日本排尿機能学会	評議員	秋野 裕信
日本泌尿器科学会	代議員	秋野 裕信
日本排尿機能学会	代議員	青木 芳隆
日本排尿機能学会	代議員	松田 陽介
日本排尿機能学会	代議員	山内 寛喜

(C) 座長

国内学会（全国レベル）	学会名	氏名
招待・特別講演等	第 102 回日本泌尿器科学会	横山 修
招待・特別講演等	第 27 回日本老年泌尿器科学会	横山 修
招待・特別講演等	第 11 回夜間頻尿を考える会	横山 修
シンポジウム等	第 25 回日本性機能学会	横山 修

(D) その他

<報道> - 土山 克樹：“元気で医こう” 排尿で異変を感じる，県民福井，2014. 04. 06 - 伊藤 秀明：“元気で医こう” ロボットで治す前立腺がん，県民福井，2014. 04. 13 - 横山 修：福井大病院 最新病棟で災害に強く，福井、朝日、中日、読売、県民福井，2014. 08. 30 - 秋野 裕信：臓器提供の推進に関して思うこと，FUKUI ORGAN TRANSPLANT NET WORK，2014. 10. 01 - 松田 陽介：“ふくいのドクター相談室” 繰り返す前立腺炎、がんが心配，福井，2014. 12. 25
--

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関・委員会の名称等	役職	氏名	期間
国	科学研究費委員会	専門委員	横山 修	2005～
地方自治体	福井県，福井県臓器移植普及推進検討委員会	委員	秋野裕信	2004. 02～

地方自治体	福井県、福井県臓器移植普及推進連絡協議会	理事	秋野裕信	2005.02～
公益法人等	福井県腎臓バンク理事会	常務理事	秋野裕信	2003.06～
公益法人等	日本学術振興会	専門委員	横山 修	2013.12.01～ 2014.11.30
その他	治験調整委員会, B617 第Ⅲ相試験ー下部尿路症に対する塩酸タムスロシンの有用性の検証ー	治験調整委員会委員	横山 修	2003～
その他	アステラス製薬, YM905 Global Advisory Board meeting	委員	横山 修	2005～
その他	ファイザー製薬, Global Advisory Board meeting	委員	横山 修	2005～
その他	キッセイ薬品, Advisory Board meeting	委員	横山 修	2005～
その他	(社)日本臓器移植ネットワーク	委員	秋野 裕信	2012.07.01～ 2014.06.30
その他	フェリング・ファーマ株式会社	治験調整医師	横山 修	2012.09～
その他	フェリング・ファーマ株式会社	治験調整医師	横山 修	2012.09～
その他	アステラス製薬株式会社	医学専門家としての業務	横山 修	2012.11.01～ 2014.12.31
	小野薬品工業株式会社	学術相談業務	横山 修	2014.04.01～ 2015.03.31
	日本新薬株式会社	製造販売後臨床試験調整医師	横山 修	2014.09.01～ 2015.03.31
	アステラス製薬株式会社	医学専門家としての業務	横山 修	2014.09.01～ 2017.06.30
	日本学術振興会	専門委員	横山 修	2014.12.01～ 2015.11.30

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
公開講座	福井大学公開講座, 前立腺がん治療の最前線～ロボット手術も含めて～	福井大学, 一般, 235 人	横山 修, 大山 伸幸, 伊藤 秀明, 土山 克樹
公開講座	県民公開シンポジウム がん診療最前線, 最新の前立腺がん診療、早期診断からロボット手術まで	福井大学, 一般, 平成 26 年 12 月 14 日 (日) 13:30-16:15 福井県県民ホール (アオッサ 8 階) 共催: 福井新聞社、後援: 福井県医師会、福井県薬剤師会、福井県看護協会、福井県病院薬剤師会、福井県がん診療連携協議会	伊藤 秀明
講演・セミナー等	福井県泌尿器科医会 4 月例会, 生活習慣病と LUTS	専門職業人, 2014.4.17 (木) 18:30～ ホテルフジタ福井	横山 修
講演・セミナー等	丹生郡医師会学術講演会, 過活動膀胱、疫学と治療の UP DATE	専門職業人, 2014.4.24 (木) 19:00～ 小西亭 (越前町)	横山 修
講演・セミナー等	福井県腎細胞癌講演会, アキシチニブ weekend 休薬により転移性腎癌に対する 3rd line 治療を継続できた 1 例	専門職業人	伊藤 秀明

講演・セミナー等	尼崎市泌尿器科医会学術講演会，生活習慣と LUTS/BPH 治療－タダラフィルの登場で何が変わるのか？－	専門職業人，2014.5.15（木）18：45～ 都ホテルニューアルカイク	横山 修
講演・セミナー等	福井県泌尿器科医会講演会，Neuromodulation therapy の期待される治療効果	福井県泌尿器科医会，専門職業人，2014.5.22（木）18：30～ ユアーズホテルフクイ	松田 陽介
講演・セミナー等	一般社団法人左京医師会学術講演会，生活習慣病と排尿障害	専門職業人，2014.5.24（土）16：00～17：30 ウェスティン都ホテル京都	横山 修
講演・セミナー等	第3回長崎 BPH/LUTS セミナー，生活習慣病と LUTS/BPH 治療	専門職業人，40 人，2014.5.30（金）19：00～ ANA クラウンプラザ長崎グラバーヒル	横山 修
講演・セミナー等	前立腺肥大症学術講演会 in 三重，生活習慣と LUTS/BPH 治療－タダラフィルの登場で何が変わるのか？－	大学生・専門職業人，2014.6.5（木）19：00～20：15 津都ホテル	横山 修
講演・セミナー等	鎌倉市医師会学術講演会 生涯教育講座，生活習慣病と排尿障害	専門職業人，2014.6.20（金）19：15～ 鶴ヶ丘会館	横山 修
講演・セミナー等	ザルティア錠発売記念講演会，生活習慣と LUTS/BPH 治療－タダラフィルの登場で何が変わるのか？－	専門職業人，2014.6.25（水）19：00～ ホテルモントレ横浜	横山 修
講演・セミナー等	大阪泌尿器科臨床医会講演会，生活習慣と LUTS/BPH 治療－タダラフィルの登場で何が変わるのか？－	専門職業人，2014.7.5（土）16：00～ ホテルモンテグラスミア大阪	横山 修
講演・セミナー等	山形県ザルティア錠 発売記念講演会，生活習慣と LUTS/BPH 治療－タダラフィルの登場で何が変わるのか？－	専門職業人，2014.7.9（水）19：00～ ホテルキャッスル山形	横山 修
講演・セミナー等	Tadalafil 東京フォーラム 2014，生活習慣と LUTS/BPH 治療－タダラフィルの登場で何が変わるのか？～	専門職業人，2014.7.12（土）15：30～18：30 虎ノ門ヒルズ 森タワー5 階	横山 修
講演・セミナー等	第35回福井泌尿器科フォーラム，ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術の初期経験～紹介元の先生方ありがとうございます～	専門職業人	伊藤 秀明
講演・セミナー等	前立腺肥大症学術講演会，排尿障害最新の話	専門職業人，2014 年 7 月 26 日（土）19：00～19：50 ホテル日航福岡	横山 修
講演・セミナー等	第7回旭川前立腺疾患講演会，生活習慣と LUTS/BPH 治療－タダラフィルの登場で何が変わるのか？－	専門職業人，2014 年 8 月 1 日（金）18：45～ 旭川グランドホテル	横山 修
講演・セミナー等	アステラス社内研修会，前立腺癌に対する薬物治療の多様化	専門職業人	伊藤 秀明
講演・セミナー等	GSK UROLOGY CONFERENCE，排尿障害最近の話～テストステロンの果たす役割～	専門職業人，2014 年 10 月 1 日（水）19：00～21：00 東京ステーションホテル	横山 修
講演・セミナー等	Betanis Evidence Forum，抗コリン薬とベタニスの使い分け	専門職業人，グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール 2014 年 10 月 4 日（土）17：30～19：30	横山 修
講演・セミナー等	第7回ヘルスアップセミナー，がん手術治療の最前線～前立腺がんに対するロボット手術～	クスリのアオキ，一般，800 人	伊藤 秀明
講演・セミナー等	福井県薬剤師会・福井県病院薬剤師会学術講演会，前立腺癌の病態と治療～去勢抵抗性前立腺癌の最新治療～	専門職業人	伊藤 秀明

講演・セミナー等	第 31 回滋賀泌尿器科集談会, 生活習慣と LUTS/BPH 治療-タダラフィルの登場で何が変わるのか?-	専門職業人, 大津プリンスホテル 2 階 「淡海の間」 平成 26 年 11 月 15 日 (土)	横山 修
講演・セミナー等	丸岡 OAB 治療講演会, OAB 治療の最新の知見	福井県内科医会, 専門職業人, 5 人	松田 陽介
講演・セミナー等	第 36 回福井泌尿器科フォーラム, 常勤泌尿器科医不在病院における長期留置カテーテル抜去の取り組み	福井県泌尿器科医会、ファイザー (株), 専門職業人, 2014 年 11 月 20 日 (木) 18:30-20:00 ユアーズホテルフクイ 5 階ルミエール 一般講演 演者	青木 芳隆
講演・セミナー等	かかりつけ医のための泌尿器疾患診療のポイント, メタボリック症候群と排尿障害	専門職業人, 2014 年 11 月 22 日 (土) 14:30-17:30 サイプレイスガーデンホテル 共催: 日本医師会、愛知県医師会、アステラス	横山 修
講演・セミナー等	Urology Conference in Toyama, 排尿障害最近の話題-テストステロンの果たす役割-	専門職業人, 2014 年 11 月 27 日 (木) 19:00-21:00 富山電気ビルディング 5 階 主催: グラクソスミスクライン (株)	横山 修
講演・セミナー等	かかりつけ医のための泌尿器疾患診療のポイント, 夜間頻尿治療のピットフォール-睡眠障害と多尿-	専門職業人, 2014 年 12 月 21 日 (日) 13:00-16:00 ホテルフジタ福井 3 階 「天山の間」 共催: 日本医師会、福井県医師会、アステラス (株)	松田 陽介
講演・セミナー等	かかりつけ医のための泌尿器疾患診療のポイント, 夜間頻尿の疫学	専門職業人, 2014 年 12 月 21 日 (日) 13:00-16:00 ホテルフジタ福井 3 階 「天山の間」 共催: 日本医師会、福井県医師会、アステラス製薬 (株)	青木 芳隆
講演・セミナー等	かかりつけ医のための泌尿器疾患診療のポイント, 夜間頻尿の治療	専門職業人, 2014 年 12 月 21 日 (日) 13:00-16:00 ホテルフジタ福井 3 階 「天山の間」 共催: 日本医師会、福井県医師会、アステラス (株)	伊藤 秀明
講演・セミナー等	かかりつけ医のための泌尿器疾患診療のポイント, かかりつけ医のための排尿障害診療のポイント (女性編)	専門職業人, 2014 年 12 月 21 日 (日) 13:00-16:00 ホテルフジタ福井 3 階 「天山の間」 共催: 日本医師会、福井県医師会、アステラス (株)	山内 寛喜
講演・セミナー等	第 10 回北大阪排尿障害フォーラム, 女性下部尿路症状の成因と治療-骨盤臓器脱と性機能との関連も含めて-	専門職業人, 平成 27 年 1 月 24 日 (土) 15:30-17:30 スイスホテル南海大阪 7 階 「芙蓉」 主催: 大鵬薬品工業 (株)	横山 修
講演・セミナー等	ザルティア発売記念講演会, 生活習慣と LUTS/BPH 治療-タダラフィルの登場で何が変わるのか?-	専門職業人, 平成 27 年 2 月 5 日 (木) 19:15- ダイワロイネットホテル 4 階 プレジール 主催: 日本新薬 (株)	横山 修

講演・セミナー等	第 182 回日本泌尿器科学会信州地方会、過活動膀胱、疫学と治療の update	専門職業人，平成 27 年 2 月 7 日（土）17：00-18：10 信州大学医学部外来棟 4 階 大会議室 共催：日本泌尿器科学会信州地方会、ファイザー(株)	横山 修
講演・セミナー等	大分泌尿器フォーラム，生活習慣と LUTS/BPH 治療-ザルティアの登場で何が変わるのか-	専門職業人，平成 27 年 2 月 20 日（金）19：15-20：30 大分泌尿器フォーラム（大分県大分市）主催：日本新薬株式会社 福岡支店	横山 修
講演・セミナー等	第 40 回東京泌尿器科医会学術集会（20 周年記念大会），Female LUTS、最近の話題	専門職業人，2015 年 3 月 7 日（土）17：00-19：30 京王プラザホテル南館 4 階「扇」講演 2	横山 修
講演・セミナー等	静岡県東部排尿障害セミナー，生活習慣病と排尿障害-ベタニス錠使用の有用性を含めて-	専門職業人，2015 年 3 月 11 日（水）19：00 特別講演「生活習慣病と排尿障害-ベタニス錠使用の有用性を含めて-」	横山 修

(B) 国際貢献
国際協力事業

活動名・活動内容	氏名	相手方機関名	役割	期間	活動国名
TOVIAZ Global Advisory Board Meeting, Current state and proposal of treatment for OAB in Japan	O. Yokoyama		講演・セミナー等	2014. 06. 07	USA (NY)
A silodosin stand alone symposium sponsored by Eisai (Thailand) Marketing Co., Ltd., Lifestyle related disease & BPH/LUTS	O. Yokoyama		講演・セミナー等	2015. 02. 04	タイ（バンコク）

(C) 特記事項

- 秋野 裕信：国内外の学会誌の査読を多数担当し、関連学会の発展に貢献している。日本泌尿器科学会では代議員、日本排尿機能学会では理事として学会の運営や発展に大きく寄与した。特に日本排尿機能学会では和文誌の編集幹事、英文誌 LUTS の編集委員、会則検討委員会、選挙管理委員会の任に当たった。
国内外での学会活動やパラメディカルを対象とした学外での教育活動以外を行った。
日本臓器移植ネットワーク中日本支部の運営委員としてわが国の移植医療の発展に貢献している。また、福井県腎臓バンクの常務理事、福井県臓器移植推進検討委員会の委員として、行政とともに福井県の移植医療の推進に努めている。また特記事項に記載した内容により、福井県における腎移植の実施、普及にも努めている。
以上から「水準を上回っている」と判断した。
福井大学病院は福井県における唯一の献腎移植施設であり、本院における腎移植医療チームのトップ

として、福井県における献腎移植者の選定の際の相談、献腎移植希望の新規登録者の医療相談や献腎移植希望者の更新時の患者評価を行なっている。

- 大山 伸幸：多くの市民講座、講演、新聞報道などを通じて、一般の方への泌尿器科領域の知識を啓蒙し、健康向上の上で社会に貢献した。

日本学術振興会の専門委員として科研費採択審査業務に携わることで、行政、社会に貢献した。